

なびあ

NAGASAKI
INTERNATIONAL
ASSOCIATION

VOL 97
2017.12



2017年10月29日(日) 第19回ながさき国際協力・交流フェスティバル「着物を着て茶道を体験しよう!」

Contents

- 事業報告
 - ・日中韓青少年交流事業
 - 日中「孫文・梅屋庄吉」塾2017..... 2
 - 日韓未来塾2017..... 3
 - 日中韓トライアングル交流会2017..... 3
 - ・釜山青年日韓親善交流団の来県と交流..... 4
 - ・第19回ながさき国際協力・交流フェスティバル..... 4
 - ・草の根国際交流支援事業
 - 「東山手『地球館』開館20周年&
長崎『国際交流塾』設立25周年記念事業」..... 5
- これから開催されるイベントのお知らせ
 - ・カレンダー市2018～あなたもできる国際協力～..... 6
 - ・フェアトレードマーケット2018
～買い物のできる国際協力～..... 6
- 世界でキラリ☆青年海外協力隊
 - ・Kuzuzangpo la! (クズザンポーラ!) ◆
ブータンで感じた“幸せの感覚”..... 7
- 協会から助成についてのお知らせ..... 8
- 協会からのお知らせ
 - ・業務支援ボランティア募集中!..... 8

いいね!& フォローをお願いします! 協会公式「facebook ページ」を開設しました!!



<https://www.facebook.com/nia.nagasaki/>



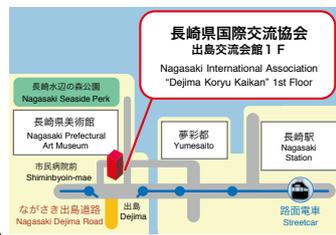
私たちは賛助会員として協会を応援しています

- ・安達株式会社
- ・株式会社プロジェクトエム
- ・ヤナセ産業株式会社
- ・佐世保慶門市青少年交流協会
- ・学校法人第二岩永学園
- ・長崎空港ビルディング株式会社
- ・こころ美健福祉専門学校
- ・扇精光ホールディングス株式会社



公益財団法人 長崎県国際交流協会

〒850-0862 長崎県長崎市出島町2番11号



TEL 095-823-3931
095-823-3929
FAX 095-822-1551
Eメール nia@nia.or.jp
HP <http://www.nia.or.jp>
FB <https://www.facebook.com/nia.nagasaki/>

事業報告

日中韓青少年交流事業(東アジア相互交流推進事業/長崎県国際課委託事業)

昨年度に引き続き、当協会では、長崎県からの委託事業として、日中「孫文・梅屋庄吉」塾2017、日韓未来塾2017、日中韓トライアングル交流会2017の3つの事業を開催しました。

今回は、日本と中国と韓国の大学生による青少年交流事業について、3つの事業の概要と参加した皆さんの声を、ご報告します。

日中「孫文・梅屋庄吉」塾 2017



○開催日程：2017年8月18日(金)～8月25日(金)(7泊8日)

○開催場所：長崎市、雲仙市、南島原市ほか

○参加者：日本側15名(長崎県内の大学生)

中国側19名(長崎県の友好都市 福建省、上海市、湖北省の大学生) 計34名

○事業趣旨：日中両国の大学生が、中国革命の父・孫文と長崎出身の実業家・梅屋庄吉との国境を越えた友情や長崎県と中国との交流の歴史を学び、今後の日中交流のあり方等について意見交換を行うことを通じて相互理解を深め、今後の長崎県と中国との交流の懸け橋となる人材を育成するとともに、日中交流のさらなる発展につなげる。

今回で4回目を迎えた日中「孫文・梅屋庄吉」塾ですが、日程・参加人数ともに昨年より増え、参加塾生にとってとても濃厚な8日間となりました。

1日目は、長崎市内の会場で、開講式と参加者による自己紹介に続きグループ討議『日中の文化・習慣等の違いや共通点』を行いました。続く2日目は、長崎歴史文化博物館や長崎孔子廟中国歴代博物館を視察後、グループ討議『私たちが考える日中交流の方策』を行い、その後3日目から4日目の南島原市での民泊体験では、日本の文化を学びながら受け入れ先のご家族の皆さんと楽しいひと時を過ごしました。

4日目は雲仙市で雲仙地獄やガラスづくりを体験し、5日目は長崎市内で唐寺や唐人屋敷などを視察後、梅屋庄吉の曾孫でいらっしゃる小坂文乃先生を講師に迎え、『孫文と梅屋庄吉』の友情に関する講演会を行いました。翌6日目にはグループ討議『私たちが考える長崎県と中国のゆかりを活用した日中交流の企画案』を行い、大学生ならではの若い発想で今後の日中交流について考えてもらいました。そして、今回初めての試みとなる、同塾OBによる講話と交流会を開催しましたが、塾OBから実体験を直接聞くことができる貴重な時間となりました。

7日目の日中韓トライアングル交流会(後述)の後、最終日の8日目には塾生全員で修了証書を受け取り、全行程を無事に終えることができました。8日間のハードな行程で疲れもあったかと思いますが、日中の塾生の皆さんの達成感に満ち溢れた表情がとても印象的でした。

今回の日中「孫文・梅屋庄吉」塾2017に参加した塾生の皆さんが、塾での経験を活かして、今後の日中友好と交流の懸け橋となることを心から期待しています！



グループ討議の様子



塾OBからの講話

【参加者アンケートより】

- ・日中間の諸問題はありますが、その影響を受けることなく、中国からの参加者の皆さんと友情を育むことができました。 (日本)
- ・日本の学生と議論することで自分の視野が広がられたと思います。新しい出会いに感謝します。 (中国)
- ・日本語をもっと勉強したいと思いました。そして、いつか日中友好のために努力したいです。 (中国)

日韓未来塾 2017

○開催日程：2017年8月18日（金）～8月25日（金）（7泊8日）

○開催場所：韓国ソウル特別市、釜山広域市、対馬市、長崎市

○参加者：日本側20名（長崎県内の大学生）

韓国側20名（長崎県の友好交流都市 釜山広域市、交流都市 全羅南道、慶尚南道、済州特別自治道の大学生ほか）計40名

○事業趣旨：日韓両国の若者が、お互いの国についての理解を深めるとともに、日韓交流の方策について討議し、企画・立案することを通じて、今後の長崎県との交流を担う青少年を育成し、交流の促進につなげる。



今回で5回目を迎えた日韓未来塾ですが、『朝鮮通信使に関する資料』のユネスコ世界の記憶への登録（2017年10月登録）を見据えて朝鮮通信使に焦点を当てた内容とし、日中「孫文・梅屋庄吉」塾と同様に日程・参加人数ともに充実したものとなりました。

今回の日韓未来塾では、1日目と2日目を日本側参加者のみで行う韓国に対する理解を深める行程としました。昨年10月に就航したエアソウル（長崎～ソウル線）に長崎空港から搭乗した参加者は、1日目の長崎県ソウル事務所の鈴木所長からの特別講義をはじめ、2日目には韓国ソウル特別市のグローバル政策などを学び、翌日からの韓国側参加者との交流に備えました。

3日目は、舞台を釜山に移し、開講式と自己紹介を終えた後、グループ討議『日韓の文化・習慣等の違いや共通点』を行い、釜山博物館の視察後、釜山大学の韓泰文教授を講師に「朝鮮通信使に関する特別講義」を行いました。続く4日目には、釜慶大学の朴花珍教授からの「釜山に関する特別講義」、甘川文化村の視察や韓服体験等を行いました。

5日目は、釜山から対馬に移動し、写真家の仁位孝雄先生を講師に「対馬と朝鮮通信使に関する特別講義」を行い、続いてグループ討議『私たちが考える日韓交流の方策』、今回初のOBからの講話と交流会を開催しました。翌6日目の対馬の歴史文化視察の後には、グループ討議『私たちが考える朝鮮通信使を活用した日韓交流の企画案』を行いました。

7日目の日中韓トライアングル交流会（後述）の後、8日目にはグラバー園の視察後、閉講式で塾生全員が修了証書を受け取りました。今回は特に例年よりも密度が濃い内容だったせいか、涙涙のお別れとなりました。

今回の日韓未来塾2017に参加した塾生の皆さんが、塾での経験を活かして、今後の日韓友好と交流の懸け橋となることを心から期待しています！



グループ討議の様子



色鮮やかな韓服で笑顔

【参加者アンケートより】

- ・日本を好きでいてくれる韓国人の友達と、自分と同じく韓国が好きな日本人の友達は、一生の財産になった。（日本）
- ・日韓未来塾は日韓交流の第一歩であり、これから自分次第で日韓交流・理解は深められるのだと思った。（日本）
- ・日韓間には多くの違いがあるが親しくなることができた。互いの違いを理解することが交流の秘訣だと感じた。（韓国）

日中韓トライアングル交流会 2017

日中「孫文・梅屋庄吉」塾2017と日韓未来塾2017の両塾生の参加で、昨年度に引き続き2回目の開催となりました。交流会のメインであるグループ討議『日中韓の未来～あるべき姿と方策～』では、“日中韓共通のSNSアプリ「TRIANGLE TALK」を制作する”、“日中韓のアイドルグループを作る”など大学生独自の発想で、全員が日中韓のより良い友好のためにどうすればいいかを一所懸命に考え・議論が繰り広げられました。長崎県の日中韓のさらなる相互理解と交流の拡大に、今回のアイデアが活かされるかもしれません！



事業報告

釜山青年日韓親善交流団の来県と交流

日程：2017年9月2日（土）～9月4日（月）〔3日間〕

場所：長崎県佐世保市、諫早市、長崎市ほか

概要：長崎県国際交流協会と釜山広域市国際交流財団との友好交流事業の一環として、『世界平和を考える』をテーマに、韓国釜山広域市の大学生25名と同財団の林相澤理事ほかご一行が来県し、長崎県民との交流を深めました。

今年初めて、韓国釜山広域市からの釜山青年日韓親善交流団の皆さんを長崎県に受け入れ、平和について学んでいただくとともに、長崎県内のたくさんの方々との交流を深めていただきました。今回はその交流の一部をご紹介します。

初日は、長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）の中村桂子准教授の『核兵器廃絶市民講座（於 佐世保市）』を聴講し、皆さん、中村准教授の話に耳を傾け、鋭い質問も出していました。

その後、諫早市に移動し、ホームステイの受け入れを行っていただくホストファミリーの皆さんとの交流会と各家庭での日本文化と交流を楽しみました。1泊2日の短い交流でしたが、お別れの時は涙のお別れとなりました。

2日目は、長崎県内の大学生と核兵器廃絶についてともに考え議論する『長崎－釜山大学生平和フォーラム』を行いました。短い時間でしたが参加者全員が真剣に議論し、また、RECNAの鈴木センター長からご講評をいただき、日韓両国の青年にとってとても有意義な時間となったようです。

今回の事業では、急なお願いにもかかわらずRECNAの鈴木センター長、中村准教授、いさはや国際交流センターの岩本事務局長をはじめ、たくさんの皆様にご協力いただきました。ご協力とご支援ありがとうございました。



ホストファミリーの皆さんとの交流会



平和フォーラム参加者と関係者の皆さん



第19回ながさき国際協力・交流フェスティバル

今年もたくさんのお会いがありました！

出展：33団体 来場客：約1,300人

台風第22号の影響により、一部内容を変更しての開催となりましたが、皆様のご理解とご協力のおかげで、無事に開催することができました。

事業報告

草の根国際交流支援事業

この事業は、長崎県の民間団体が行う国際交流事業に対して、民間レベルの国際交流をより一層推進し、地域の国際化を図ることを目的とした事業です。今年度この支援を利用された「長崎『国際交流塾』」さんからのご報告を紹介します。

東山手『地球館』開館20周年&長崎『国際交流塾』設立25周年記念事業

長崎「国際交流塾」塾長 牛嶋 洋一郎

長崎伝習所の塾の一つとして1992年に発足した長崎「国際交流塾」と、1995年に開館した国際交流塾が運営する東山手「地球館」は、2017年にそれぞれ25周年並びに20周年を迎えました。

この間、世界120か国以上の方々と延べ5,000回以上の活動を重ねており、その異文化交流体験からは「違うということの面白さや豊かさを知ると共に、それらと共生していくことの難しさ」や「日本人である自分たちが日本や日本人について知らないことがあること」に気付かされる機会が数多くありました。

そこでこれまでの活動の集大成として、以下の2つの記念事業を計画し、「草の根国際交流支援事業」として認定いただき、実施することができました。

1 「世界びっくり体験集」の発行

国際交流塾のメンバーに呼びかけ、これまで体験したおもしろ・驚き・感動のエピソード100話以上を収集し、それを60話ほどに整理し、さらによりわかりやすく、また幅広い年代の方々に読んでいただけるよう漫画化しました。これには長崎純心大学の漫画研究会「バンドる」の学生さんが、5か月がかりでボランティアで協力してくださいました。

加えて、実際に行ってきた様々な活動写真・チラシ・報告書も数多く掲載することで、国際交流・国際理解・多文化共生などを実施している団体や学校などの事例集として、役立ててもらえればと願っています。

この体験集はいつでも地球館でご覧いただけます

し、広く県民の皆様にも読んでいただけるよう県内の図書館にも寄贈しました。また学習活動等にご利用されたい方には無料で進呈いたしますのでご連絡ください。

2 東山手「地球館」20周年&長崎「国際交流塾」25周年大感謝祭の開催 (2017年5月21日(日))

当日は、たくさんの方にご来場いただき、料理・語学・音楽で世界に触れ、様々な出会いや交流を楽しまれていました。

〈開催したイベント〉

- ・長崎市長を招いてのセレモニー
- ・ワールドフーズレストラン
5か国(スリランカ・韓国・ロシア・タイ・ベトナム)の料理を提供しました。
- ・ワールド探偵団
修学旅行生などを対象につくったオリジナルの国際理解プログラムをアレンジしたものだ。地球館周辺に配置された10か国の方をウォークラリー形式で探し、それぞれの国の文字で自分の名前を書いてもらいながら交流してもらいました。
- ・世界の音楽
フォルクローレの演奏・世界の楽器体験

今後も東山手「地球館」を拠点に活動を継続してまいりますので、ぜひ一度お立ち寄りください。



ワールドフーズレストランの様子



世界の言語との出会い

東山手「地球館」

住所：〒850-0911長崎市東山手町6-25

東山手洋風住宅群 C棟

電話：095-822-7966

ホームページ：

<http://higashiyamate-chikyukan.com>

これから開催されるイベントのお知らせ

カレンダー市 2018 ～あなたもできる国際協力～

主催：学生国際NGO BOAT 共催：(公財) 長崎県国際交流協会

「学生国際NGO BOAT」は、身近な国際協力を目指して、恵まれない世界の人々の手助けとなるように取り組んでいます。カレンダー市では企業等から寄付していただいたカレンダー・手帳を100円から販売し、その収益金をタイでの支援活動に使わせていただきます。

《日にち》2018年1月13日(土)～14日(日)

《時間》10:00～15:00

《会場》出島交流会館2F 研修室
(長崎市出島町2番11号)

《問合せ先》学生国際NGO BOAT

Eメール：boatotoiawase@live.jp

主催者より一言

はじめまして。私たち「学生国際NGO BOAT」は、毎年多くの方々にご賛同いただき、このカレンダー市を開催することができています。カレンダーや手帳を買って、国際協力してみませんか？皆さまのお越しをお待ちしています！

タイってどんな国？

面積：51万4,000平方キロメートル

人口：6,572万人(2015年、タイ国勢調査)

首都：バンコク

民族：大多数がタイ族。その他 華人、マレー族など。

言語：タイ語

宗教：仏教94%、イスラム教5%

略史：タイ王国の基礎は13世紀のスコータイ王朝より築かれ、その後アユタヤ王朝(14～18世紀)、トンブリー王朝(1767～1782)を経て、現在のチャックリー王朝(1782～)に至る。1932年立憲革命。

(外務省ホームページから引用)



フェアトレードマーケット2018 ～買い物でできる国際協力～

主催：(公財) 長崎県国際交流協会

フェアトレードとは、開発途上国の生産者や労働者の生活・労働環境の改善、自立を目指す公平な貿易のことです。

私たちが日常生活でフェアトレードの商品を選ぶことが、継続的なサポートに繋がります。

フェアトレード製品の展示と販売

開発途上国の手工芸品やフェアトレード製品を材料にしたパンやお菓子、コーヒーを販売します。

《日にち》2018年1月13日(土)

《時間》10:00～15:00

《会場》出島交流会館1F
(長崎市出島町2番11号)

《出展者》自家製天然酵母と焼菓子の店ちびころ

Charitable Trade

国際協力 NGO NESTEP

旅するおやつ屋シエスタ NEW!

トネタワ NEW!

《問合せ先》(公財) 長崎県国際交流協会

TEL：095-823-3931

Eメール：nia@nia.or.jp

*ワークショップ

「このTシャツはどこからくるの?」*

コットンの栽培からTシャツの製造、消費を通じて、フェアトレードについて学ぶことのできるワークショップです。

《日にち》2018年1月13日(土)

《時間》13:00～14:30

《会場》出島交流会館2F
(長崎市出島町2番11号)

《出展者》JICAデスク長崎

《申込方法》氏名・電話番号を明記の上、Eメール
又はFAXでお申し込みください。

《Eメール》jicadpd-desk-nagasaki@jica.go.jp

《FAX》095-822-1551

《申込締切》2018年1月9日(火)

世界でキラリ★青年海外協力隊



ツェリン・トブゲ・ブータン首相(左)と谷口さん

Kuzuzangpo la! (クズザンポーラ!) ◆ ブータンで感じた“幸せの感覚”

谷口 真由美 (たにぐち まゆみ) さん

[2014(平成26)年度2次隊・ブータン・臨床検査技師]

世界中で活動するJICAボランティア。2014年9月から2年間、ブータン王国のワンディチョリン病院の検査ラボユニットにて臨床検査技師として活動された谷口さんにお話を聞きました!



ブータン王国は南アジア内陸にある中国とインドに囲まれた仏教国。九州サイズの国土に約78万人が暮らしている。国教がチベット仏教で文化、生活、習慣などすべてに関して仏教の教えが色濃く反映されている国。
(地図画像は外務省HPより)



「Kuzuzangpo la! (クズザンポーラ!)」ブータン王国の国語であるゾンカ語で“こんにちは”という意味です。日本人である私に多くのブータン人は「クズザンポーラ!」と声をかけてくれました。

東日本大震災の後、どの国よりも早くブータン国王夫妻が来日し、被災地まで赴きブータンの高僧たちと共に津波が襲った地域に向け祈りをささげた姿は記憶に残っています。多くのブータン人は日本のことが大好きで、日本が大きな災害に見舞われたときは友人を思うかのように心配し、実際ブータンに住んでいた2年間に『家族は大丈夫か?復興しているのか?』と心配そうに聞かれたこともありました。こんな日本とブータンの関係は1964年に日本からブータンに農業を普及させるために海外技術協力事業団(現JICA)から赴いた一人の日本人から始まりました。彼の名前は西岡京治さん。彼の活動功績を称え、ブータン政府からダショー(「最高に優れた人」という意味の名誉称号)を授与されました。しかし1992年、彼はブータン国内で敗血症になって亡くなってしまいました。その際ブータンでは国を挙げて国葬が行われ、多くのブータン人が彼の死を悼みました。今でも多くのブータン人が『ダショー-西岡』が今のブータンの農業を作り上げてくれたと言っています。

ブータン王国は人口約78万人が九州サイズの国土に暮らし、国の経済指標であるGDP(Gross Domestic Product:国内総生産)ではなくGNH(Gross National Happiness:国民総幸福量)を国の基本方針としています。GNHは経済成長を重視する姿勢を見直し、伝統的な社会・文化や民意、環境にも配慮した「国民の幸福」の実現を目指す考え方です。その背景には仏教の価値観があり、環境保護、文化の推進など4本柱のもと9つの分野にわたり「家族は互いに助け合っているか」「睡眠時間」「植林したか」「医療機関までの距離」など72の指標が策定されています。家族が共に食事をして同じ時間を共有する、食べる物がある、着る民族衣装がある、家族や友人が元気に生活をしている、必要最低限のものが手に入る、そんな普通の生活における“足るを知る”という精神がブータン人の幸せの根底にはあると2年間の生活を通して感じることができました。ブータンでの生活は不便さを感じることもありましたが、逆に帰国して日本での生活を息苦しく感じることもあります。2年間で感じたブータン人が感じる“幸せの感覚”をこれからも忘れずにいたいと思います。



民族衣装の私と同僚たち



お坊さんの健康診断の様子



西岡京治さんが伝えた水稲栽培



『ダショー-西岡』を祀る仏塔

協会から助成についてのお知らせ

国際交流応援プロジェクト ～3つのサポート～

募集期間 随 時

1 国際交流スタート支援 ～あなたの初めての国際交流を応援！～

- ・企画・運営などをサポートします。
- ・上限10万円で実施経費の一部を助成します。※対象となる経費が決まっています。

一緒に最初の一步を
踏み出しませんか？



スポーツ交流



初めての国際交流

2 中国・韓国との交流支援 ～上海市または釜山広域市の民間団体との交流を応援！～

- ・上海市、釜山広域市で団体同士の《出会いの場》を設け、交流相手の団体を紹介します。
- ※《出会いの場》の会場や通訳などは、協会が用意します。
- ※参加にかかる費用（渡航費・宿泊費・飲食費など）は自己負担です。

新たな交流を
探しに行きませんか？



異文化交流

3 草の根国際交流支援 ～国際交流事業を行うあなたを応援！～

- ・上限10万円で対象経費（講師などの謝礼、交通費、会場使用料など）の1/2以内を助成します。

未長い交流をしませんか？



スポーツ交流



華道で文化交流

お問い合わせ先：(公財)長崎県国際交流協会【TEL】095-823-3931【E-mail】nia@nia.or.jp【HP】http://www.nia.or.jp

協会からのお知らせ

業務支援ボランティア募集中！

協会では業務支援ボランティアを募集しています。トライアルも設けていますので、体験してみて判断いただいても問題ありません。日本人、外国人は問いませんので、国際交流に興味のある方はぜひお問い合わせください！

※従事時間は13:00～16:00の3時間です。

※日本人枠・木曜日、外国人枠・月曜日を募集しています。

業務支援ボランティアとは？

来客の方へのお茶出し、交流フロアの清掃、広報誌の管理や軽微な事務作業などをお手伝いいただく方のことです。2人でペアになってご担当いただきます。